

第 89 回「村長とのふれあいトーク」当日のやりとりコメント

【1】①コロナのワクチン接種の予約について

ワクチン3回目接種の接種券が届き、かかりつけ医の病院の窓口に行ったが、インターネットでの予約のため受付してもらえなかった。息子にインターネットで予約してもらったが、空きがなかったため、別の病院で予約した。かかりつけ医は自分の体のことを把握している。接種後が不安なため、かかりつけ医での接種が出来るようにしてもらいたい。

⇒【村長コメント】

ワクチン接種については、村内の全ての病院で実施できるように御協力いただいているが、病院ごとにスタッフの人数等により1日の接種量(予約枠)が決まっている。迅速化を図り多くの人に接種してもらうためには、かかりつけ医に拘らずに予約できる病院での接種をお願いしたい。

【1】②猫の糞の処理について

近所で飼っている猫が家の庭に糞をしてしまう。飼い主に相談したが、対応してもらえないため、村で何とかしてもらえないか。

⇒【村長コメント】

糞の始末については、飼い主の責任となる。マナーを守ってもらうよう定期的に啓発していきたい。

【1】③交差点の信号機について

合同庁舎の交差点の歩道を渡る信号の時間が短いので、長くしてほしい。

⇒【村長コメント】

警察署において、交通量や利用状況、歩行者の意見などによって信号機の時間は変更しているが、すぐには対応できない状況である。

【2】①コロナのワクチン接種の予約について

1・2回目のワクチン接種については、持病があるため近所のかかりつけ医で接種ができた。3回目は村のコールセンターに電話をかけて予約したが、電話が繋がらない状態であったため、絆に行って予約してもらった。持病があると接種前も接種後も不安であることから、主治医のいる方はかかりつけ医、主治医がいない方は村で予約するなどの対応を考えるべきではないか。

⇒【村長コメント】

国や県からもワクチン接種を早く進めるよう言われている。個別の事情ではなく、医療機関を選ばずに接種できる場所を迅速に確保してもらうことが必要であった。今後は今回のご意見や病院の先生の意見も聞きながら対応していきたい。

【2】②村公式LINEについて

村の公式ラインから届く情報が多く困っている。頻繁に入ってくるため、どの情報が重要なのが分からない。こちら東海村の方が見たい情報だけを見られるので便利である。

⇒【村長コメント】

世代によって情報を得る手段が違っており、若い方は広報紙ではなく、村公式LINEで情報を得ている。個別受信機でも災害の情報は流すが記録として残らない。こちら東海村より村公式LINEの方が機能や登録者も多いことから多くの人が支持している手段で広報していく必要がある。

【2】③健診時の対応について

一昨年、健診を受けるため、デマンドタクシーを利用して絆に行ったが、受付時間より早く到着してしまった。雨が降っていたので絆内で待機していたところ、職員に「ここで待っていては困ります」と言われてしまった。車で来ていれば車内で待機できるが、デマンドタクシーを利用して健診に来る人がいるという認識を持ってもらいたい。

⇒【村長コメント】

今後そのようなことがないように対応する。

【3】①舟石川小横村道（村道 2260 号線）防犯灯の設置要望について

舟石川小横村道（村道 2260 号線）は夜道が暗くて危険であることから、防犯灯の設置をお願いしたい。村の担当の方と話をしたが、自治会からの要望として提出しなければならないという村のルールに沿わないということであった。村のルールを調べたが、「ただし、その他村長が必要と認める場合」ということに該当すれば、自治会を通さなくてもよいのではないかと。

⇒【村長コメント】

生活に必要な防犯灯などの要望は、自治会を通さなくても要望できるような方法を検討しなければならないと思っている。「その他村長が認める場合」については、条件を設ける必要があるため、その条件を検討し、後日連絡する。

⇒【都市整備課コメント】

自治会未加入世帯の方々からの要望については課題と捉えておりますが、「その他村長が必要と認める場合」についての条件等の検討に時間を要している状況です。これまでも防犯灯設置は、地域を知る自治会が地区における設置が必要な箇所をまとめた上で、村に要望し設置してきたところでございます。まずは自治会要望として採用していただけるか、自治会長へ相談することをお勧めいたします。

【3】②常会の設立について

常会を設立するために何軒か声をかけているが、資源リサイクルに立ち会いたくないという理由から満場一致で反対されている。資源ごみはスーパー等で捨てることができるため、立ち会いをなくすことはできないのか。

⇒【村長コメント】

資源ごみの収集については、自治会でまとめてごみを収集することにより、報償金が入り自治会活動の財源となっている。きちんと分別されるという担保が取れば、ステーション形式にするなど、立ち会いをしない方法も導入していきたい。

【4】私有地に面した細い村道の整備について

私有地に面する道路が狭く、車の出入りに支障を来している。私有地と村道を隔てる 10 センチメートルほどの H 型鋼（村で打ち込んだもの）と向かいの家の外壁により、車での右左折が困難であることから、村道を広く整備してほしい。

⇒【村長コメント】

都市整備課に確認の上、後日連絡をする。

⇒【都市整備課コメント】

H 形鋼については、不動産会社から同様の要望がありました。このため、飛び出している部分を切断し、周囲を砕石で擦り付けたことで車両通行に支障がないように改善済みです。また、当該路線は雨水がたまってしまふとのことで、自治会から改善の要望がきているため、令和 4 年度に測量を伴う基礎調査を実施する予定です。

【5】村への提案について①

LINE で情報配信してもらっており、大変便利である。申請や手続き関係を 24 時間オンラインで受付し、配送や配信で受け渡しを行い、決済についても既に窓口で導入している PayPay などの電子マネーを取り入れてはどうか。

⇒【村長コメント】

オンライン申請については現在検討している。現段階では、役場に来てタブレットを使用して申請できる方法や自宅からオンラインで申請できる方法などを検討中である。

【5】村への提案について②

転入届を出す際にマイナンバーなどの番号などで紐づけし、電気・ガス・水道などの転入手続きもワンストップでできるようにしてはどうか。

⇒【村長コメント】

要件が違う度に申請書を書かなくて済む方法を現在検討している。

【5】村への提案について③

コミセンを活用する意味でコミセンや役場，病院などを全部ネットワークで繋ぎ，災害時に情報発信をしたり，コミセンの状況が役場や病院から確認やリモート会議ができるように村内施設の IT 化で情報を共有するような取り組みをしてはどうか。

⇒【村長コメント】

コミセンの活用を検討したいと思っている。災害時の避難所機能として，本部とオンラインで繋いで情報収集や普段使いとしての活用も考えていきたいと思っている。

【5】村への提案について④

新しい方が農業を始める際のノウハウが経験者の頭のなかにしか入っておらず，産業として成り立っていない。ものづくり補助金などを活用し，天候や温度に関連した生育状況をデータ化し，新たに農業を始める方がそのデータを活用していくよう農業の IT 化を進めていくことにより，産業として成り立っていくのではないかと。

⇒【村長コメント】

農業の機械は自動化が進んでいるが，生産技術については経験値に頼っているのが現状である。若い方でも農業がやり易くなるようにデータを見える化するというような視点は大事である。新しい感覚を持って農業に取り組んでいる方と意見交換を行っていきたい。

※特筆事項がなかった方につきましては，掲載を割愛させていただきます。